

～SDGs関連イベント～

2021年

3/13
(土)

上映 上映時間 10時～12時～
「子どもたちをよろしく」

フォーラム 時間 14時20分～16時10分

「大津の子ども・若者と一緒にいるために（仮題）」

第一部：寺脇研氏の基調講演

第二部：大津で子ども若者支援をされておられる団体と寺脇氏のディスカッション

会場 スカイアラバ浜大津

一詳細はホームページをご確認ください。

URL <http://movementotsu.com/SDGs2020/forum2020.html>



協賛



叶匠壽庵

小林事務機株式会社

SHIGA BANK

滋賀グリーン活動ネットワーク
Shiga Green-activity Network -since 1999-

正和設計
SEIWA 株式会社

SOMPOひまわり生命

DYNAMIC SHOKEN
株式会社 昭建

SHIGATAN
Shiga Junior College

BESTパートナ
大樹生命

京都市立中区 みんなの居場所
学び舎 傍楽



まちづくり大津

滋賀銀行 保険共同募集会社
レーク商事株式会社

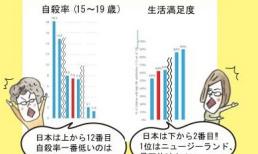
イオンスタイル大津京

坂本民主診療所

膳所在宅ケア
ステーション陽だまり

表紙の答えは 子どもの幸福度

分野	指標
精神的幸福度（37位）	生活満足度が高い15歳の割合 15～19歳の自殺率
身体的健康（1位）	5～14歳の死亡率 5～19歳の過体重・肥満の割合
スキル（27位）	数学・読解力で基礎的習熟度に達している15歳の割合 社会的スキルを身につけている15歳の割合



より詳しく知りたい方はユニセフのホームページをご覧ください。→
URL <https://www.unicef.or.jp/report/20200902.htm>



発行：大津市民活動センター（指定管理者：NPO法人 ICC グループ）

〒529-0047 大津市浜大津4-1-1 明日都浜大津1階 開館時間9時～21時（カウンター業務は月～土の9時～19時）

TEL : 077-327-8661 / FAX: 077-527-8662 HP: <http://movementotsu.com> mail: moveinfo@movementotsu.com

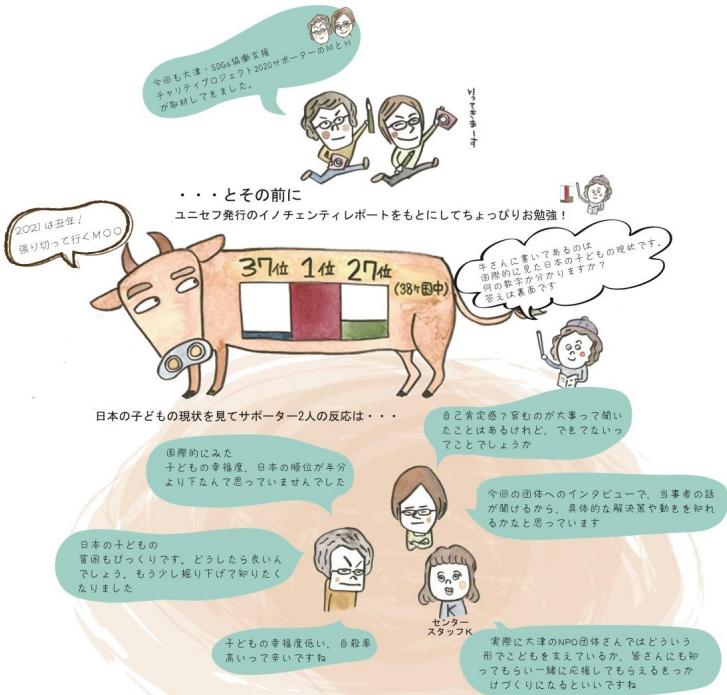
イラスト：サポーターM
取材：サポーターMと日
編集：市民活動センター



ほっこり こころまれる場所

特集：NPO法人こどもソーシャルワークセンター
NPO法人あめんど

イベント告知（裏面）：2021年3月13日（土）
映画「子どもたちをよろしく」上映会 + 寺脇健氏の基調講演



NPO法人 あめんど



活動内容

- 子どもの支援教室
- 母親対象の学びとくつろぎのカフェ
- 学習支援
- ひまごりの若者の就労支援など

住所 〒520-2133
滋賀県大津市野播原2丁目3-7
TEL 077-532-3681
HP <http://npo-amendo.org/>



ボランティア募集中

ボランティアに参加したい人は
やむにいこと、参考できる曜日・時間を見て
えこ、できることを提供する。
(お菓子づくりの手伝い・事務仕事・乾燥
野菜作り・お掃除などなどでも受付中)



取材してみる

「あめんど」の強みはいつも戻ってこられる居場所として「ここにあること」。年齢による切れ目のない支援で、どんな世代の人でも訪れることができます。利用者は深く関わって、仲良くしてくれる「あめんど」。社会的疎開からはじめても、「受け止めてもらえる」という安心感がありました。

「あめんど」が大切にしているのは、「どんな人でも役割をもつて社会を加える」子どもたちのことを信じる」「成長したためにできる環境を整える」こと。「こんな場所もあるよ」と日常を楽しんでいる子どもたちに向かってほしい居場所。また「はしき出さない」という選択肢を人が育む場所だと思いました。



木曜日、「あめんど」にて子ども支援教室を取材してきました。
学校以外の居場所を探している子ども達もやってきますが、「あめんど」では学校や地域と連絡を取り合って、ここでは様々な子どもや若者に寄り添った支援が得られます。
今日集まつた子達は「勉強」「おやつづくり」「畑作業」などしていました。
私はある男の子とともに畑作業をしました。

#作業の中で生まれるもの



—これからくる女の子のために用意された机。
今日1日のスケジュールと課題が準備されていることで安心感が生まれるそうです。



今日の作業は畑の畝と畝の間に溝を掘って水はけを良くすること。
『広い畝・人参が良い感じです。』



『粘土質で、とても重い土。』



木になってしまったオクラ→
来年の野菜の支柱にするそう。



木いじしながら、会話を弾み笑い声の絶えない畑作業途中、おやつ作りをしていたグループから「おやつ食べよう」の声掛け。食べ終わったら畑作業を再開。

活動が進っても子ども、若者、大人が関わり合って一緒に成長していきます。



「みぞ分りますか



畑作業では土作り、草刈り、植付け、水やり、収穫など、獲れた野菜を乾燥加工し、販売するといった、これまで若者の就労準備支援が行われます。
一つの作物や型にはめ込まず、個人個人または時期に応じた方針を考えている「あめんど」。他にも子どもの夜の居場所づくりの「トライアクト」、ママ同士のつながりを生む「ママカフ」など多くの事業をされていて、事務同士が相互に作用することも多いとのこと。支援の方もされる方も一緒に歩んでゆける仕組みです。



大津市・長等にある「NPO法人こどもソーシャルワークセンター」(以下、センターと表記)は、家庭や学校でしどんさを抱える子どもや若者たちの「ケア型居場所づくり」活動に取り組んでいる団体です。
今回子ども達の夕食を作る調理ボランティアに参加してきました。



#否定されない安心感



ボランティアに来ていた10さん、ご自身のお子さんも不登校の時期があったそうです。お子さんがセントーに通いたいなん人にかわってもらうこと、徐々に周りの人たちに話を聞いていくことができたと語る10さん。不登校になった当初は相談場所もなく、不安で悩んだそう。そんな時センターの存在が自分にとっても心強かったと話してくれました。

子ども達はセンターに来いたら自分のやりたいことをして過ごします。スタッフとじゃれあって遊んだりゲームをしたり…思い思いに楽しめます。



「おやつを食べ損ねた子どもに
おにぎりを握るスタッフさん。



食材はほとんど寄付でまかなわれています。
取材当日も地域の方が無農薬で育てた野菜を持ってきてくださいました。



PM3時過ぎ。センターに着いたボランティアさんは、まずはタスクの献立を考えます。
「何食べたい?」「カレーがいい!」「シチューも~!」というリクエストに応えて、本日の夕飯はカレーとシチューに決まり。買い出しに行き約10人前を大鍋で調理。



「出来立て熱々の里芋のフライを
ちょっと味見。



「夕飯は各自好きな場所で好きな人と食べます。」



自身も不登校の経験があるスタッフの清水さん。「当事者だった自分が支援側にいるからこそ、見えてくるものがある」と語ります。

NPO法人 こども ソーシャル ワークセンター



活動内容

- 支援家庭のための夜の居場所事業
- 学校生活に苦しさを感じる子ども達の居場所事業
- 引きこもりの若者の居場所事業
- 中間就労事業
- 誰でも参加可能な子ども食堂事業など

住所 〒520-0032
滋賀県大津市親雲寺9-8
TEL 077-575-4378
HP <http://cswc2016.jp/>



ボランティア募集中

こどもソーシャルワークセンターでは、子ども達を遊んでもらう方、調理ボランティアでお力を貸してくださる方、食材の提供をしてくれる方など、さまざまな形でボランティア活動に一歩踏み出しませんか?



取材してみる

こどもソーシャルワークセンターさんは、「第一は子どもの最善の利益(「味方」)」というスタンスで運営されています。そのため、指導や教育は基本的に実行しないこと。子ども達が守るべきルールもほぼありません。「子どもが楽しい時間を過ごすことが一番。家庭や学校で得られない経験をして欲しい」と話すスタッフさんの言葉が心に残りました。

『センターへ生きづらさを抱える子どもたちにとっての安全な空間』。子ども達はくさぐるスタッフやボランティアさんの温かい顔を感じ、その愛情が子どもたちの支えになっているんだろうな。そんな想惑をもったボランティア体験でした。